４　化石レプリカを作ろう

　化石は過去に生物がいたことを示す証拠であり、示準化石や示相化石などがあります。実際に化石に触れることで過去の生物や環境の様子を推測してみましょう。また、貴重な化石のレプリカを作成することで、身近に感じることもできます。

〇必要な道具

化石（アンモナイトや三葉虫など）、熱可塑性プラスチック（プラスチック粘土）、工作用セッコウ
割り箸、紙コップ、お湯

〇作成方法

１　熱可塑性プラスチック（プラスチック粘土）は１００円ショップ、工作用セッコウは日用品量販店
　　化石は教材販売店などで購入できます。

２　プラスチックをお湯につけます。１～２分程度で柔らかくなります。柔らかくなったら、指でこね
　　形を整えていきましょう。お湯がついているので、拭き取ってからこねましょう。

３　化石にプラスチック粘土をつけていきます。全体をプラスチック粘土で覆うと、化石を取り出せな
　　くなるので、最低限化石を取り出せるようにしましょう。

４　プラスチックの型が固まったら化石を取り外し、その型にセッコウを流し込みます。
　　セッコウは、その製品の使い方を参考に水の分量を決めてください。

５　１～２時間後、セッコウが固まったら取り出し、レプリカの完成です。

〇使用方法

・プラスチック粘土の代わりに、歯科用印象材でも型を取れますが高価です
・セッコウレプリカに色をつけると、より本物に近づきます。